

社内標準  
(技術標準)

**AMP**

管理基準：一般顧客用

日本エー・エム・ピー株式会社

適用事業所

全社

114-5213

取付適用規格

Application Specification

FFCコンタクトの結線条件

1. 適用範囲

1.1 内容

本規格は、銅導体回路付フレキシブル・フラット・ケーブル (FFC) 用の多極圧着コンタクトの結線条件を規定している。これらの必要条件は自動圧着機により結線されたものに適用される。

1.2 製品規格

製品の性能についての必要条件は製品規格 108-5484 を参照のこと。

2. 対象製品

173710-4 FFC用リセコンタクト

3. 用語の説明

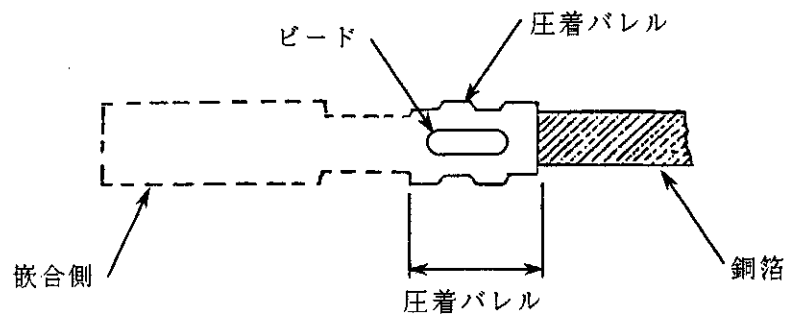


Fig. 1

					作成:	分類:	取付適用規格	
					<i>T. Shinohara</i>	コード:	114-5213	改訂 0
					検閲:			
0	作成 FJ00-2337-95	<i>T.S</i>	<i>JK</i>	<i>ΔJ</i>	6/1/95	承認:	名称: FFCコンタクトの結線条件	
改訂	改訂記録	作成	検閲	承認	年月日	<i>田</i>		
配布		年月日制定			6頁中1頁			

## 4. 性能必要条件

## 4.1 FFC (フレキシブルフラットケーブル)

## A. 設 計

コンタクトは以下の必要条件に合致する回路に使用するよう設計されていること。

- |              |   |
|--------------|---|
| (1) 導体寸法     | 1.57 mm ± 0.08 mm 巾 × 0.035 mm ± 0.013 mm 厚 |
| (2) 導体の中心線間隔 | 2.54 mm ± 0.13 mm 非累加公差                     |
| (3) 回路厚さ     | 0.15 ± 0.05                                 |
| (4) 材料       | ポリエステル                                      |

## B. その他の回路

4のAに掲げた回路以外のものにコンタクトを使用しようとするときは、AMP技術部に問い合わせ願います。

## 4.2 回路の作成

結線しようとする回路の端末は、Fig. 2に示す通り直線で且つ回路の縁部に対して直角に切断されていること。

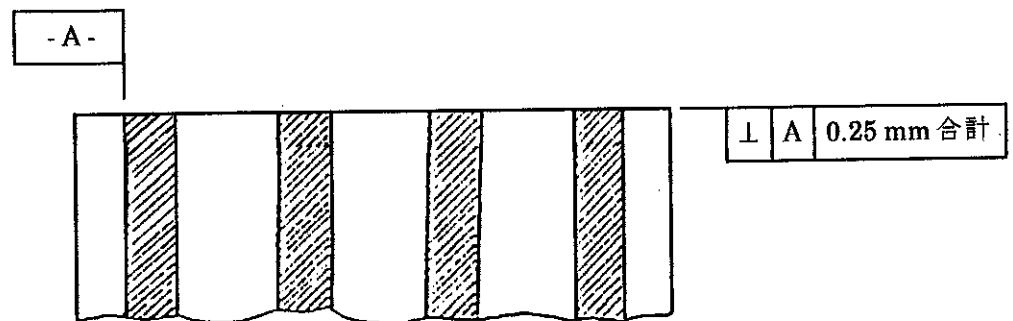


Fig. 2

分類：  
取付適用規格

標準の名称：  
FFC コンタクトの結線条件

標準のコード：  
114-5213

改訂	2 頁
0	6 頁中

## 4.3 コントクト位置取り

## A. 回路端部の突出し

コンタクトに対する回路端部の位置決めは Fig. 3 に示すものであること。

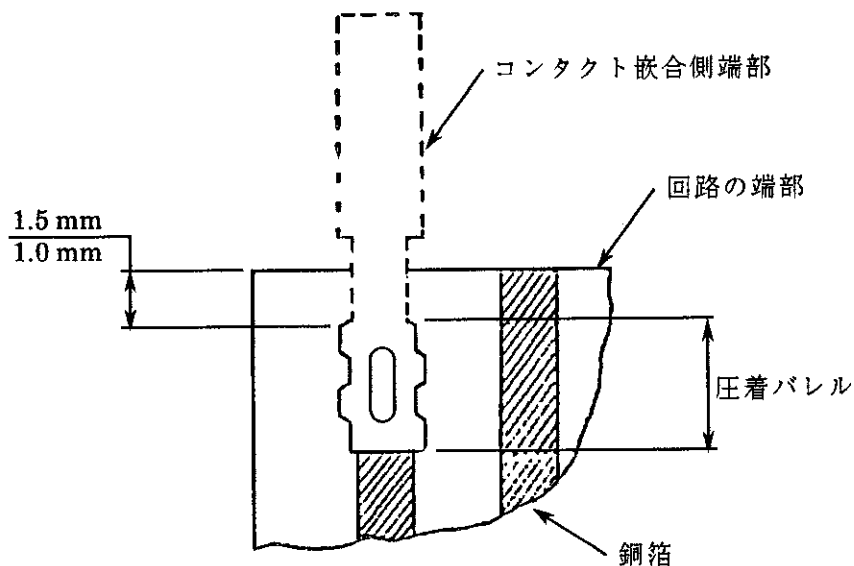
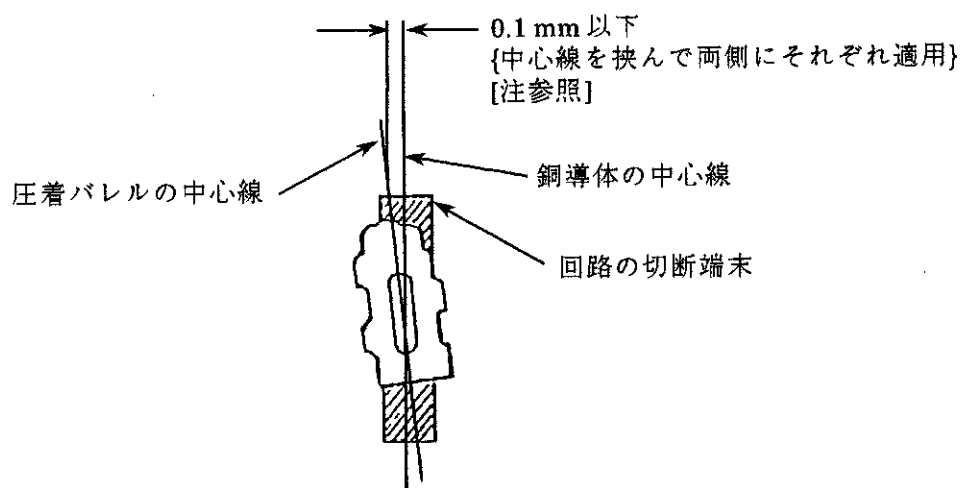


Fig. 3

## B. 平行度

圧着バレルの中心線は導体の中心線と Fig. 4 に示す公差の範囲内で平行であること。



(注) 寸法は回路の切断端末に於て測定すること。

Fig. 4

分類：  
取付適用規格

標準の名称：  
FFC コントクトの結線条件

標準のコード：  
114-5213

改訂	3 頁
0	6 頁中

C. 中心線の芯合わせ

銅箔は、Fig. 5に示すように上部から目視した時に、4個の圧着パレルのタインが内側に巻込んだ中に圧着されていなければならない。

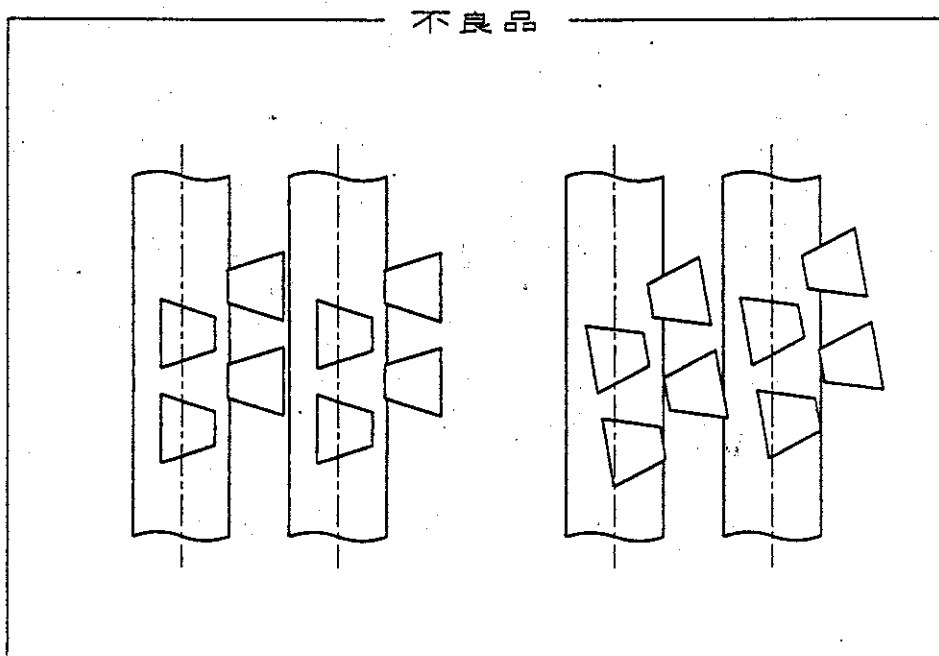
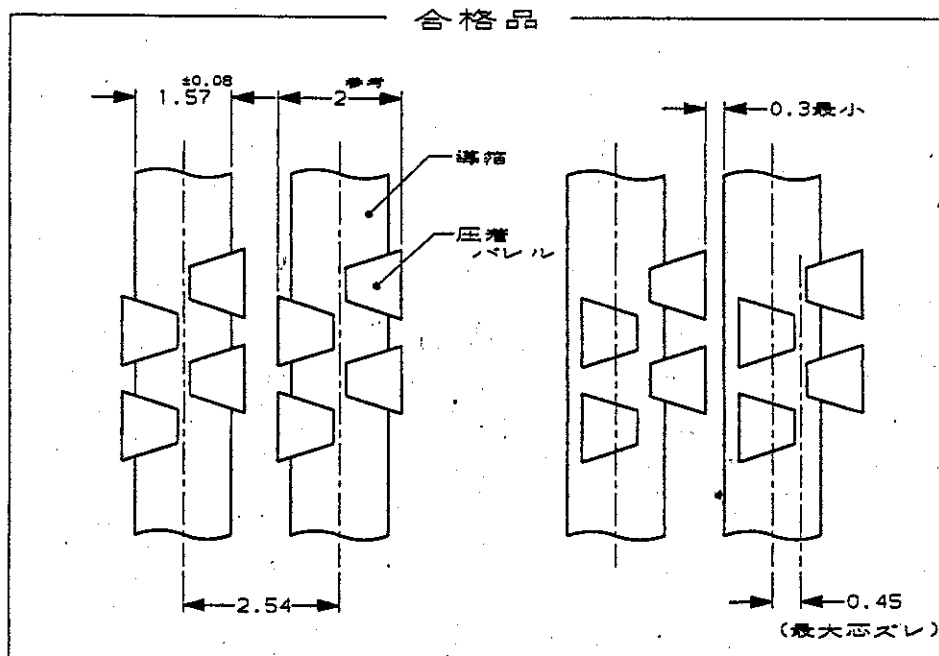


Fig. 5

## 4.4 圧着部の形状

圧着工具の芯合わせ点検は自動圧着機に銅導体を使用せず圧着して行う。圧着バレルのタインは、圧着後 Fig. 6 に示す公差の範囲内に於て左右対称であること。

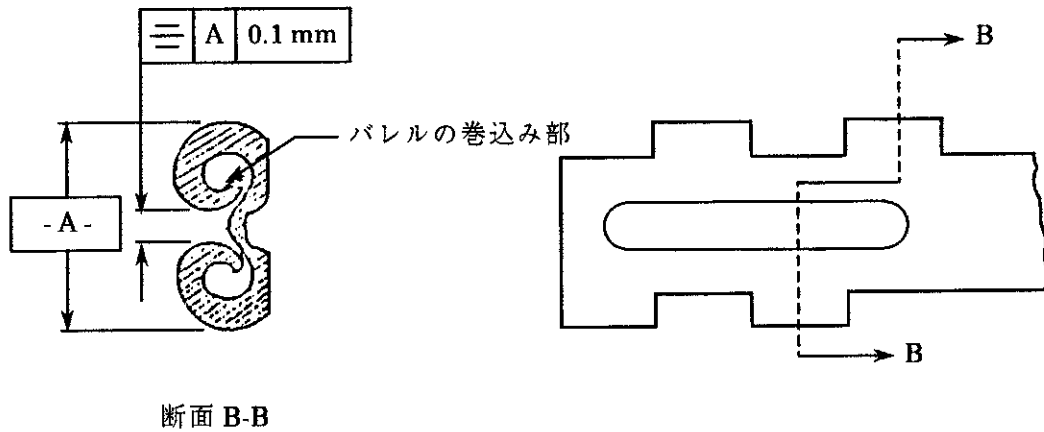


Fig. 6

## 4.5 圧着高さとし

圧着高さとしは Fig. 7 に示す範囲であること。

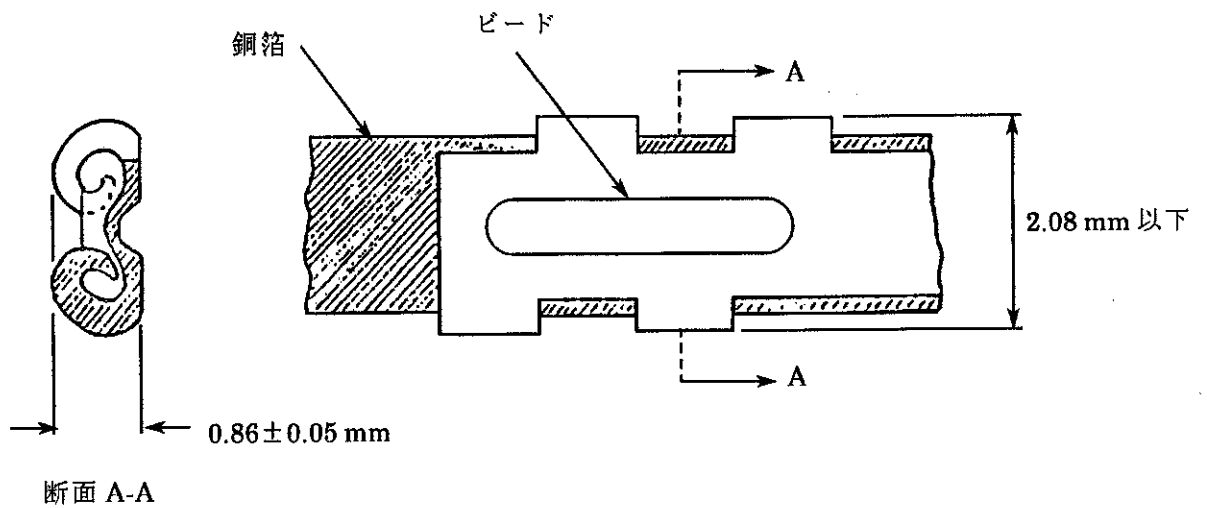


Fig. 7

#### 4.6 キャリヤの切断タブとバリ

キャリヤの切断タブとバリの長さは Fig. 8 に示す公差を超えないこと。

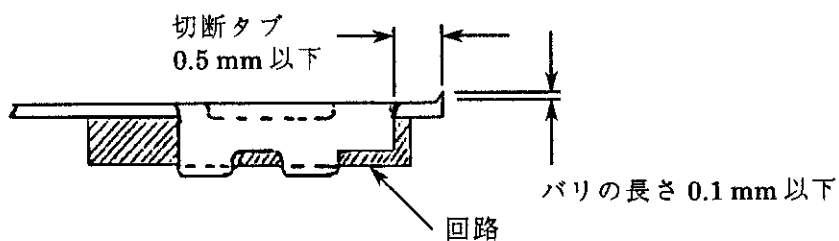


Fig. 8

#### 4.7 圧着の仕上り

圧着したコンタクトと回路の圧着部分は、本規格の必要条件に合致しているか確かめるために検査をすること。

分類：  
取付適用規格

標準の名称：  
FFC コンタクトの結線条件

標準のコード：  
114-5213

改訂	6 頁
0	6 頁中